

## 小さな親切で広がる輪

広島県 来見小学校 6年 中村 日葵

私は、学童保育に行っています。夏休みの間は、朝の会があるため、体育館に移動します。体育館は学童保育の外にあり、くつばこも人数分ないのでみんなげんかんにくつを置いています。だいたい人はきちんとくつをそろえています。でも、中にはきちんとそろえない人がいます。私は自分のくつをそろえながら、(どうしてきちんとそろえないんだろう。ちゃんと自分でそろえればいいのに……) と思っていました。

でもそんなとき、友達がその人たちのくつをそろえはじめました。たったそれだけのことですが、その行動はとても勇気のいることだと思います。

でも私はその友達のように、みんなのくつをそろえることができませんでした。ほかの人のくつもそろえている友達は、なんだかとてもかがやいて見えました。

それからしばらくたったある日、友達はこの日もくつをそろえていました。私が手伝おうかまよって近くで見ていると、友達が私に気づき、こう言いました。

「ひなちゃん、手伝って。」

この言葉で私もくつをそろえるのを手伝いはじめました。手伝う前までは、はずかしくてできませんでした。でもやってみると、はずかしい気持ちは消え、なんだかすがすがしい気分になりました。

また、周りを見てみると、自分の近くにあるそろえていないくつを、そろえている人が何人かいました。

友達のたった一つの行動が、数日間の中に、一部の人だけですが、その人たちの行動を変えました。そして、私の行動も。

しかし、まだまだくつをそろえない人がいます。私のように、「手伝いたいけど、はずかしくてできない」、「自分のくつは、きちんと自分でそろえればいいのに」という人がいるかもしれません。

だから、くつをそろえていない人は、きちんとくつをそろえるようにして、自分のくつはきちんとそろえているけど、ほかの人のくつはそろえていないという人たちは、私の友達を見て、「私もあの子みたいに、ほかの人のくつをそろえよう」と、近くにあるくつだけでもそろえてほしいと思います。

そして、友達一人で作った小さな親切をどんどん広めて、小さな親切の輪を、小さな親切の「大きな輪」にしていきたいです。